学校番号	3022

令和２年度　地理歴史科

教科	地歴公民	科目	日本史Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説日本史Ｂ」　（山川出版）						
副教材等	「新詳日本史」　（浜島書店）・「日本史重要史料集」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

原始･古代から現代に至る歴史の展開を政治史･外交史を中心に幅広い見方で大きく把握させる。各時代の政治・外交の特色や時代の変遷に関わる考察を通じて、その特色をつかみ、日本史を学習するうえでの基礎力をつける。

2　学習の到達目標

・諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によってとらえる歴史的な見方や考え方を身に付ける。
・歴史的な思考力の育成を図るとともに、国際的な視野をもち、平和的で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	政治史･外交史を中心とする日本の歴史に対する関心や課題意識を高め、意欲的に追究する。	日本の諸課題を歴史的に考察し、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断して、表現する力を養う。	日本の歴史に関する諸資料を活用し、公正に情報を分析したり、まとめたりする。	日本史についての基礎的な知識を身につける。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	律令国家の形成 日本文化のあけぼの	･原始社会の及び古代国家の特色について、東アジア世界の動向と関連付けて考察させる。 ･歴史が資料に基づいて考察、叙述されてい	○	○	○	○	a:学習内容に関心を持ち、意欲的に取り組む。 b:多角的に考察し、表現する。 c:諸資料を分析し、理解する能力をつける。 d:基礎的な知識を的確に身につける。	ワークシート 定期考査

	貴族政治 中世社会の成立	ることの理解を図る ・歴史への関心を高め、文化財保護の重要性に気付かせる。 ・政治の動向、国際関係への対応を踏まえて、平氏政権～鎌倉幕府の特性について考察する。	○	○	○	○	a:学習内容に関心を持ち、意欲的に取り組む。 b:多角的に考察し、表現する。 c:諸資料を分析し、理解する能力をつける。 d:基礎的な知識を的確に身につける。	ワークシート 定期考査 提出物
2学期	武家社会の成長 幕藩体制の確立と展開	・室町時代の政治の特色について、東アジア世界の動向と関連付けて考察させる。 ・諸資料を活用して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。 ・江戸時代の政治について、国際環境と関連づけて考察する。 ・歴史的事象について根拠や論理を踏まえ、筋道立てて考える。 ・明治国家の形成と政治の特色について、国際環境と関連づけて考察させる。	○	○	○	○	a:学習内容に関心を持ち、意欲的に取り組む。 b:多角的に考察し、表現する。 c:諸資料を分析し、理解する能力をつける。 d:基礎的な知識を的確に身につける。	ワークシート 定期考査 小テスト
	幕藩体制の動揺 近代国家の成立		○	○ ○	○	○ ○	a:学習内容に関心を持ち、意欲的に取り組む。 b:多角的に考察し、表現する。 c:諸資料を分析し、理解する能力をつける。 d:基礎的な知識を的確に身につける。	ワークシート 定期考査 提出物
3学期	二つの世界大戦とアジア 占領下の日本 高度経済成長の時代	・近代国家の展開について、考察する。 ・戦後社会について、国際環境と関連付けて考察する。世界の中の日本、地域社会の歴史と生活について認識し、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	○	○	○	○ ○	a:学習内容に関心を持ち、意欲的に取り組む。 b:多角的に考察し、表現する。 c:諸資料を分析し、理解する能力をつける。 d:基礎的な知識を的確に身につける。	ワークシート 定期考査 提出物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。